

どうする？ 町の問題！

高等学校・1～3年生

I プログラムについて

1 人権教育上のねらい（普遍的な人権課題「共感と連帯感」）

＝【人権感覚育成のための視点】

利害が対立する問題を相互にプラスになるような解決策を考える活動を通して、他者の立場や思いへの興味・関心を高め、同じ社会集団の一員として共通の目的を目指して努力することができるようにする。

2 関連する教科等について

○公民

※総合的な学習（探求）の時間での実施も可能

3 人権教育上の視点

(1) 自己の立場や意見を主張するだけでなく、他者の立場や意見を共感的に受け止め、尊重しようとする。（価値・態度）

(2) 集団の一員として協力して解決に向けて取り組むことができる。（技能）

II アクティビティーについて

1 概要

○活動1

ある町で起こった町内会の問題について、自分と異なる立場の意見を聞き、グループで解決方法を話し合い、発表する。

○活動2

今回の活動について振り返り、所属する集団や所属員に関わる問題の解決について、どのような決定の仕方が望ましいかを考える。

2 準備するもの

○学習資料

○意見カード

○ワークシート

3 アクティビティーの進め方

○活動1 「活動内容の把握」

- ① 学習資料とワークシートを配布する。
- ② 話合いが行われることになった経緯について説明した上で、本時の流れを把握させる。

○活動2 「関係者の意見の把握」

- ① 6人（または5人）のグループになり、町内会長役を決める。
- ② 各グループの町内会長役に関係者の役割と意見が書かれた意見カードを配り、町内会長役は自分の意見カードを抜き、他の意見カードを裏にしてメンバーに1枚ずつ引かせ、役割を決める。
- ③ それぞれの立場の意見を読み上げていき、町内の地図にメモを取りながら、関係者の意見を把握する。

○活動3 「グループによる話合い」

- ① 学習資料中の「※話合いの観点」及び2の「(3)条件」を教師が読み上げて確認させる。
- ② 問題の解決方法について、グループでそれぞれの立場で話し合う。その際、他者の人格を否定するような発言はせず、最後まで話を聞いてから発言するように指示する。

○活動4 「全体発表」

- ① 各グループで話し合った内容を発表する。

○活動5 「振り返り」

- ① 今回の活動を振り返り、所属する集団や所属員に関わる問題の解決について、どのような決定の仕方が望ましいのかについて考え、ワークシートに記入する。

4 アクティビティーを指導する際のポイント

- 結論を出すことが目的ではない。話合いのプロセスを通して、他者の立場や意見を共感的に受け止め、解決に向けて協力して取り組もうとする姿勢を身に付けることが目的であることを理解させる。
- 町内会での問題を解決するという具体的な事例をもとに、一般的な課題について考えることで、他のケースにも応用できる人権感覚を身に付けさせることがねらいであることを意識して指導にあたる。
- 書くことが難しい生徒や意見がまとまらないグループには、結論は書けなくても、途中までどう考えたか、どこで悩んだかを書くように助言する。
- 例えば、学校行事へ向けての取組など、学級集団として活動に取り組む時期に実践すると効果的である。

Ⅲ 授業の実際

時間	学習活動 発問 (T) 生徒の反応例 (S)	教師の働きかけ (・) 人権教育上の配慮 (◎)
5分	1 本時の活動内容の確認 T 今日、ゴミ収集場所の問題の解決について考えましょう。	<ul style="list-style-type: none"> ・学習資料とワークシートを配る。 ・学習資料の1 (話合いの経緯) を読み上げることで、本時の活動の流れを把握させる。
40分	2 関係者の意見の把握 T 町内会長役は自分の意見カードを抜き、他の意見カードを裏にしてメンバーに引かせてください。 T 自分が担当する役割名とそれぞれの立場の意見を確認し、地図中の自宅に印を付けましょう。 T 意見カードに書かれているそれぞれの立場の意見を、順に読み上げていき、町内の地図にメモを取りながら、関係者全員の意見を把握してください。 ※学習資料の2 (1) を読み、進行する。 S 皆それぞれの立場があって、意見が異なっている。 3 グループによる話合い T 町内会長役が司会を行い、どのように問題を解決するかを話し合い、班の意見をワークシートに記入してください。 ※学習資料の2 (2) (3) を読み、進行する。 S 自分の家の前は嫌だが、町内全体のことを考えると、反対ばかりもしてられない。 S 収集場所をローテーションにはできないか。	<ul style="list-style-type: none"> ・6人のグループを作らせ、町内会長役に意見カードを配る。 ※5人の場合は、町内会長役が二役を兼ねる。 ・意見カードの内容及び自宅の場所を確認させることで、話合いにおいて、自分が担当する役割の立場から意見を述べることを理解させる。 ・関係者全員の自宅の場所、意見をメモさせ、それぞれの立場によって意見が異なることを確認させることで、これから話合いによって問題を解決していくことを理解させる。 <p>◎町内会の一員として問題解決のための話合いに参加できるよう、学習資料の1の「※話合いの観点」を読み上げ、話合いのポイントを明確にする。(技能)</p> <p>◎自己の立場や意見を主張するだけでなく、他者の立場や意見を共感的に受け止め、尊重できる話合いになるよう、他者の人格を否定するような発言はせず、最後まで話を聞いてから発言するように指示する。(価値・態度)</p>

	<p>S どの場所にしても、ゴミ出しのルールは徹底させる必要がある。</p> <p>4 全体での発表</p> <p>T 各グループで話し合った内容を発表してください。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 結論だけでなく、根拠をもとに理由を考えさせることで、話し合いを深めさせる。 結論とその理由を簡潔に各班1分程度で発表させる。
5分	<p>5 振り返り</p> <p>T 今日の学習を振り返り、所属する集団や所属員に関わる問題の解決には、どのような決定の仕方が望ましいのかを考え、ワークシートに記入してください。</p> <p>S 自分の意見を主張するだけではなく、相手の意見も考えて妥協点を見付けていくことが望ましいと思った。</p> <p>S みんなの問題は、みんなで協力して解決することが望ましいと思った。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 学校や近隣において起こりそうな問題を想起させることで、日常の問題解決の仕方と関連付けて考えることができるようにする。

IV 資料

(1) 学習資料

ゴミ収集場所の問題を解決しよう

1 話合いの経緯

皆さんの住む町で、「ゴミ収集場所を別の場所に移して欲しい」という要望が出されました。そこで、関係のある皆さんに集まってもらい、話合いが行われることになりました。

【出席者】

Aさん（町内会長）、Bさん（ゴミ収集場所の前に住む住人）、Cさん（ゴミ収集場所近くの古くからの住人）、Dさん（新しく引っ越ししてきた住人）、Eさん（飲食店経営者）、F不動産

※話合いの観点

- ①ゴミ収集場所の問題を解決するという目的を達成するために、ゴミ収集場所、ゴミ出しのルール、その他の話合いの結果は有効な解決策であるか。
- ②違う立場であっても、その解決策は受け入れ可能な配慮があるか。
- ③話合いの中で、参加者全員が意見を言うことができたか。

2 話合いをしよう

(1) ゴミ収集場所について、町内会の話合いを始めます。出席者は、それぞれの意見を1人ずつ発表してください。

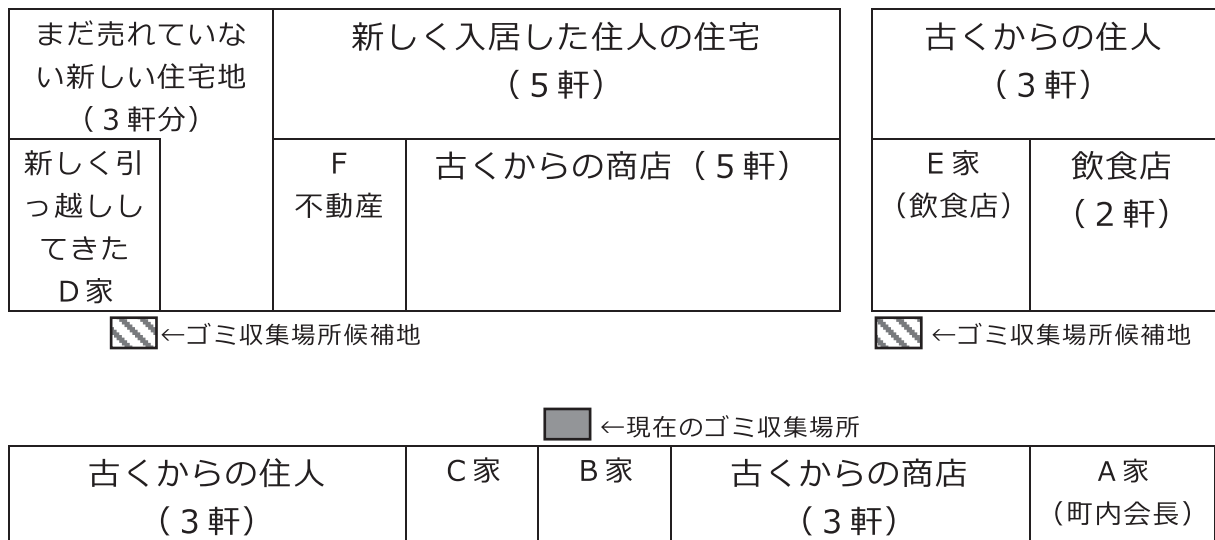
(2) 話し合いたい内容は、次の2点です。

- ①ゴミ収集場所はどこがよいか。
- ②ゴミ出しのルールをどうするか。

(3) また、ゴミを収集してもらうには、次のような条件があります。

- ①車の通行上、ゴミ収集場所に指定できる場所は、Bさんの家の前、Dさんの家の前、Eさんの家の前の3か所です。
- ②毎週火・金曜日が燃えるゴミ、毎週木曜日が燃えないゴミの収集日です。

3 町内の地図



(3) ワークシート

どうする？ 町の問題！	
<p>1 [班] の意見</p> <p>年 組 番 氏名</p> <p>グループでの意見 (メモ)</p>	
<p>2 どのようにしてこの問題を解決しますか。</p> <p>理由 (根拠となることも書く)</p> <p>他班の発表 (メモと気付き)</p>	
<p>3 所属する集団や所属員に関わる問題 (トラブル) の解決について、どのような決定の仕方が望ましいと思いますか。</p>	

(2) 意見カード

<p>【Aさん (町内会長)】</p> <p>古くからの住人も、新しい住人も、皆さんにとって住みよい町にしたい。それぞれ言いたいことはあるだろうが、ゴミ収集場所とそが出し方について町内会の住民が納得できる方法を考えたい。</p>	<p>【Bさん (提案者)】</p> <p>ゴミ出しのルールを守らない人もいる。カラスや猫がゴミ収集場所を荒らし、その後始末をするなど、長年、我慢してきた。新しい住人が増えるに従って、ゴミの量も増えてきた。際、別の場所にゴミ収集場所を変えてほしい。なぜ15年間も私の家の前だけにだけずつとないといけないのか。</p>	<p>【Cさん】</p> <p>住人が増えてゴミの量が増えるのは、新しい住人が来たからだ。今までは周辺の住人が協力して何とかやってきた。まだ住んでいる人が少ない、新しい住人の周辺にゴミ収集場所を移すのが一番良い。ゴミ収集車の通行上、収集場所に指定でききような場所は、D家の前あたりかな。</p>	<p>【Dさん】</p> <p>新しい住人よりも古くからの住人の方が断然多い。ゴミは古くからの住人や商店街から出す物がほとんどで、新しい住人のゴミの量はたいした量ではない。ゴミ収集場所を変える必要はない。もし、変えるとしても旧住民の方が多いゴミを出しているのだから、ゴミ収集車の通行を考えたらE家の前がよいのではないか。</p>
<p>【Eさん】</p> <p>商店街や飲食店前をゴミ収集場所にするのは難しい。ゴミ出しのルールの徹底を図るので、現状のままB家の前をお願いしたい。周辺の住民に迷惑をかけるないようにゴミの出し方のルールを決めよう。</p>	<p>【F不動産】</p> <p>販売中の新しい住宅地の前にゴミ収集場所をつくってほしくない。商売に影響する。新しい住人にはゴミの減量化とゴミ出しのルールの徹底を図るので、現状のまま変える必要はないのではないか。</p>		

V 出典・参考資料

- 「どうする？ 町の問題！」 (平成25年度) 「広島県人権教育教材開発委員会作成 教材集」 広島県教育委員会